

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年6月25日(2009.6.25)

【公開番号】特開2008-92579(P2008-92579A)

【公開日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-015

【出願番号】特願2007-259204(P2007-259204)

【国際特許分類】

H 04 M 3/00 (2006.01)

H 04 L 12/56 (2006.01)

【F I】

H 04 M 3/00 B

H 04 L 12/56 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月11日(2009.5.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

インターネットプロトコル(IP)マルチメディアサブシステム(IMS)ネットワーク(350)において、進行中のコールの連続性を管理する方法であって、該方法は、

セッション開始プロトコル(SIP)インバイトメッセージ(312、356)を介して、一つのドメイン内の進行中のコールに関連するコール情報を該IMSネットワーク(350)内に配置されたネットワークノード(308)に提供すること(222)であつて、該SIPインバイトメッセージ(312、356)は、コール連続性のための呼び出しとして動作するように適合されたユニークオーフォームリソース識別子(URI)を含む、提供すること(222)と、

SIP応答メッセージ(316、364/366)を介して該ネットワークノード(308)から、ルーティング可能な番号を受信することに応答して、該進行中のコールと関連するコールリファレンス番号が有効であることを確認すること(224)と、

該確認(224)後に、該SIP応答メッセージ(316、364/366)の中に識別される利用可能なドメイン情報と一つ以上の利用可能な無線アクセス技術に基づいて、代替ドメイン内の進行中のコールの連続性を実行するために、該ルーティング可能な番号を用いることにより、該ネットワークノード(308)にコール設定メッセージ(320、368)を送信すること

を包含する、方法。

【請求項2】

前記代替ドメインは、パケット交換(PS)ネットワークドメインと回路交換(CS)ネットワークドメインとのうちの一つを備える、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記ルーティング可能な番号は、VCCドメイン転送番号(VDN)とIPマルチメディアルーティング番号(IMRN)とのうちの一つを備える、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記URIは、ユーザ装備デバイス(302)と関連する取り外し可能なストレージモジュールに、ローカルに格納される、請求項1に記載の方法。

【請求項 5】

前記 U R I は、ユーザ装備デバイス(302)内に集積されたメモリ回路に、ローカルに格納される、請求項1に記載の方法。

【請求項 6】

前記 U R I は、前記 I M S ネットワーク(350)によってユーザ装備デバイス(302)に動的に割り当てられている、請求項1に記載の方法。

【請求項 7】

前記 U R I は、S I P ヘッダまたはS I P メッセージのボディのうちの一つを提供される、請求項6に記載の方法。

【請求項 8】

前記 U R I は、ユーザ装備デバイス(302)と関連するユーザIDパラメータに基づいて、該 U E デバイス(302)によって、生成される、請求項1に記載の方法。

【請求項 9】

ユーザ装備(U E)デバイス(302)であって、

セッション開始プロトコル(S I P)インバイトメッセージ(312、356)を介して、進行中のコールと関連するコール情報を、インターネットプロトコル(I P)マルチメディアサブシステム(I M S)ネットワーク(350)内に配置されたネットワークノード(308)に提供する(222)手段であって、該 S I P インバイトメッセージ(312、356)は、コール連續性のための呼び出しとして動作するように適合されたユニフォームリソース識別子(U R I)を含む、提供する(222)手段と、

S I P 応答メッセージ(316、364/366)を介して、該ネットワークノード(308)から、ルーティング可能な番号を受信したことに応答して動作可能であり、該進行中のコールと関連するコールリファレンス番号が有効であることを確認する(224)手段と、

該確認(224)に応答して動作可能で、該 S I P 応答メッセージ(316、364/366)の中に識別されるドメイン情報と一つ以上の利用可能な無線アクセス技術に基づいて、代替ドメイン内の進行中のコールの連續性を実行するために、該ルーティング可能な番号を用いることにより、該ネットワークノード(308)にコール設定メッセージ(320、368)を送信する手段と

を備える、U E デバイス(302)。

【請求項 10】

前記代替ドメインは、パケット交換(P S)ネットワークドメインと回路交換(C S)ネットワークドメインとのうちの一つを備える、請求項9に記載のU E デバイス(302)。

【請求項 11】

ネットワークノード(308)であって、

ユーザ装備(U E)デバイス(302)から受信したセッション開始プロトコル(S I P)インバイトメッセージが、リクエスト・ユニフォームリソース識別子(R-U R I)フィールドを含み、該 R-U R I フィールドが、コール連續性のための呼び出しとして動作するように適合されたU R Iを含むことを確認する(313)手段と、

該U E デバイス(302)に提供されるべきS I P 応答メッセージを生成する手段(313)であって、該 S I P 応答メッセージは、I P マルチメディアルーティング番号(I M R N)と、一つ以上の無線アクセス技術と、該U E デバイス(302)と動作可能な代替ドメインとのうちの少なくとも一つを含むように動作可能である、生成する手段(313)と、

コール連續性を実行することについて、該U E デバイス(302)からのメッセージを介して受信した該I M R Nが依然として有効であることを確認する手段(313)とを備える、ネットワークノード(308)。

【請求項 12】

前記代替ドメインは、パケット交換(P S)ネットワークドメインと回路交換(C S)

ネットワークドメインとのうちの一つを備える、請求項1_1に記載のネットワークノード（308）。

【請求項13】

前記URIは、前記ネットワークノード（308）と関連するデータベース（122）に格納されている、請求項1_1に記載のネットワークノード（308）。

【請求項14】

前記代替ドメインは、Tel-U RIフォーマットで前記SIP応答メッセージの中に識別される、請求項1_1に記載のネットワークノード（308）。

【請求項15】

前記代替ドメインは、E.164フォーマットで前記SIP応答メッセージの中に識別される、請求項1_1に記載のネットワークノード（308）。

【請求項16】

コール連続性を実行する方法であって、

ユーザ装備（UE）デバイス（302）から受信したセッション開始プロトコル（SIP）インバイトメッセージが、リクエスト・ユニフォームリソース識別子（R-URI）フィールドを含み、該R-URIフィールドが、コール連続性のための呼び出しとして動作するように適合されたURIを含むことを確認することと、

該UEデバイス（302）に向けたSIP応答メッセージを生成することであって、該SIP応答メッセージは、IPマルチメディアルーティング番号（IMRN）と、一つ以上の無線アクセス技術と、該UEデバイス（302）と動作可能な代替ドメインとの少なくとも一つを含むように動作可能である、ことと、

コール連続性を実行することに関して、該UEデバイス（302）からのメッセージを介して受信した該IMRNが依然として有効であることを確認することとを包含する、方法。

【請求項17】

前記代替ドメインは、パケット交換（PS）ネットワークドメインと回路交換（CS）ネットワークドメインとのうちの一つを備える、請求項16に記載の方法。

【請求項18】

前記代替ドメインは、Tel-U RIフォーマットで前記SIP応答メッセージの中に識別される、請求項16に記載の方法。

【請求項19】

前記代替ドメインは、E.164フォーマットで前記SIP応答メッセージの中に識別される、請求項16に記載の方法。